

【コロナがもたらした社会の変化】

- ① **テレワークが急速に拡大し、仕事が場所の制約から大きく解放**
- ② **東京圏等の大都市圏への過度な一極集中に伴うリスクが改めて認識**

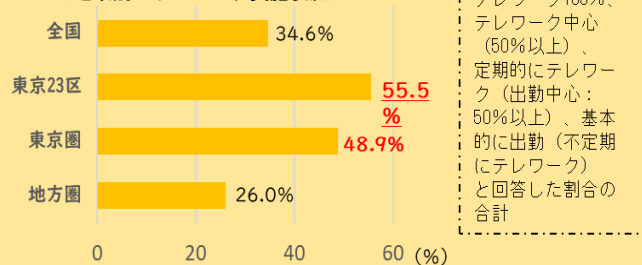


今までにない**東京一極集中の是正、分散型国土創出の機運の高まり！**

テレワークの拡大

東京圏（特に23区）のテレワーク実施率が高い

＜地域別 テレワーク実施状況＞



テレワーク100%、
テレワーク中心
(50%以上)、
定期的にテレワーク
(出勤中心：
50%以上)、基本的
に出勤（不定期
にテレワーク）
と回答した割合の
合計

(出典：内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」に基づき作成)

新型コロナでの死亡率

死亡率は、**大都市圏 > 地方圏**

	実 数			指 標
	死者数 (人)	感染者数 (人)	人口 (万人)	死亡率(人口10 万人あたり)
大都市圏	492	11,648	6,366	0.77
地方圏	186	4,417	6,251	0.3
全国計	678	16,065	12,617	0.54

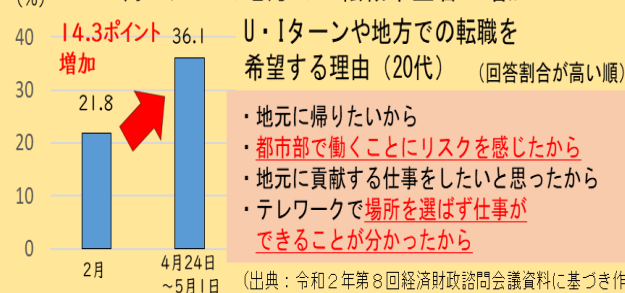
大都市圏：埼玉、東京、千葉、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡
地方圏：大都市圏以外

(出典：明治大学小田切教授
「ポストコロナ社会と地方圏の展望」に基づき作成)

地方での転職希望者の増加

20代のU・Iターンや地方での転職希望

～2月と比べて地方での転職希望者が増加～



【地方への新たな人の流れの創出】

コロナ後の新しい働き方は、

感染拡大を予防する「新しい生活様式」を前提としたものに！



テレワークを進化させた「**ワーケーション**」を三重県としても推進！！

【ワーケーションによる関係人口増加促進プロジェクト】

部局横断的に実施

三重県内

受入体制の構築

- NPOやDMO、商工団体等が、市町等と連携したモデル事業の支援(5地域程度)
- 受入可能施設:約40施設(12市町) ※3月末時点

子どもの自然体験機会の創出

- 「ファミリー・ワーケーション」の推進
 - ・子供向け自然教育・体験プログラムの造成
 - ・大人が自然豊かな環境でテレワークするための環境整備

国立公園等でのワーケーション推進

- 環境省の事業を活用した、ワーケーションツアーの企画や環境整備等に取り組む事業者の支援

首都圏等都市部

ワーケーション自治体協議会

(**会長 仁坂和歌山県知事**)への参加

- ワーケーション自治体協議会主催のPRイベント等への参加

マッチング件数
目標**100件**

広報・マッチング支援

- 広報ツール(パンフレットやSNSページ)の制作や、企業・個人と県内受入可能施設をマッチングする専用サイトの構築
- マッチングイベントの開催や、ワーケーション意識調査の実施

三重の暮らし魅力発信リレー

- 移住者や地域で活躍している人の暮らしぶりを紹介するPVの制作、発信

小泉環境大臣と国立公園等を活用したワーケーションの推進について、ワーケーション自治体推進協議会会長県和歌山県とともに、意見交換(6月11日)



省庁横断体制の構築を!

観光戦略実行推進会議
(菅官房長官他)

政府を挙げて省庁横断で
ワーケーションを推進
する方向で議論

【国立公園でのワーケーション推進】

○吉野熊野国立公園

- ・3県にまたがる国立公園
- ・三重県には大杉溪谷
- ・奈良県には奥大和地域
- ・和歌山県には白浜

先進的な白浜に学ぶ!

○伊勢志摩国立公園

- ・ビューポイントやアクセスルートが整備
- ・多様な宿泊施設が存在
- ・多彩なエコツーリズムを展開



伊勢志摩サミット
開催のレガシーを
生かした取組

感染拡大防止と経済再生をめざす“みえモデル”実現にむけた現場視察（6月29日）



奥伊勢フォレストピア

ユネスコエコパーク
拡張認定!



大杉溪谷

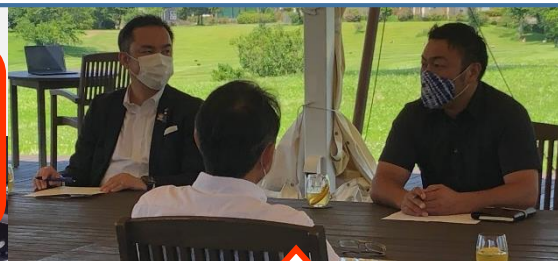
仕事場と大自然を
スローな旅でつなぐ



大杉谷自然学校、大杉谷登山センター、Verde大台ツーリズム

原生的自然につつまれた「遊びの場」「教育の場」
としてPR! 感染症対策も強化!!

3月に試行。
Wi-Fi環境、
二次交通が課題!



感染予防対策の
「見える化」に向けた
取組支援を!



宿屋「まてまて」

民間・行政
共に大きな
期待感!



「NEMU RESORT」

➡ 3県で連携して、吉野熊野国立公園をワーケーションの舞台として、
全国に発信するとともに、課題解決に向けた取組の共有を!